

しるばータイムス @しまね かわら版

Vol. 6
2020年6月
発行

公益社団法人島根県シルバー人材センター連合会
TEL.0852-28-1171 FAX.0852-28-1173
〒690-0887松江市殿町8番地3 タウンプラザしまね2階



「就業現場おじやまします！」

緊急事態宣言中の5月11日の取材のため、マスク着用となっております。

子どもも好きシルボンヌの プチワーク 一緒に成長する喜びを実感

核家族化や転勤、一人暮らしなどの理由から、子育てを実家や知人などに手伝ってもらっていることができない家庭が島根県でも増えています。そこで必要とされるのが地域の力。産前産後の時期などにある女性の家事や育児を一時的に支え、子育ての大変さを軽減するための地域ぐるみの施策に、シルバー会員のマンパワーが活かされています。



一時預かりの様子（緊急事態宣言前）

妊娠中や出産前後、子どもがまだ小さいうちは心配事が多かったり、身体も自由に動かせなかったりなど、日常の暮らしを営むにもなにかと困難が伴うものです。そんなときに身内や友人などにお願いで助けられたという人も多いと思いますが、その助けがなかなかない人もいます。松江市では、そうした妊娠前から就学前まで期間の支援として平成18年度から「訪問型子育てサポーター事業」を行い、事前に登録された家庭での家事や育児を支援すること、産みやすく育てやすい環境づくり、子どもたちの健全育成に資するよう取り組んでいます。この事業主体である松江市子育て支援センター家庭支援係長の恩田敏子さんは、「子育て

中は大変だったり辛かったりしたこともなつかしい思い出になるよ」と、この事業が役立てれば...と語っています。

具体的な支援としては調理や洗濯、掃除、沐浴、食事の世話、遊び相手や相談相手などですが、これらを実際に行う「子育てホームサポーター」の確保が必要です。市ではホームサポーター養成講座を実施するなど、これまで延べ220人を認定しましたが、いま活動を行っているのは数十人とどまっています。そうした状況の中、松江市シルバー人材センターもこの事業の委託先のひとつとしてサービスを提供しています。



松江市シルバー人材センター

松江市シルバー人材センターでは、この事業の立ち上げ当初からサポーター養成も含めて関わりを持ち、人生経験豊かな女性が適材であるという考えのもとに、「乳幼児の一時預かり業務」と並行して、この「訪問型子育てサポーター事業」に取り組んできました。現在では10名の会員が子育てホームサポーターとして登録されています。ときには育

児についての相談事などされることもあり、そんな時には、ネットや育児本など数多くの情報があるなか、経験に基づいた生き生きとした情報としてよければいいことも多いといえます。松江市子育て支援センターの恩田さんは「ご家庭に入っていく活動は、楽なことではないと思いますが、実際の活動に際して、あたたかく親身に

「産前・産後の訪問サポーター事業」は、知事が地域に足を運び直接県民の声を聞いて施策となつたものの一つです。シルバー人材センターが受託している「訪問型子育てサポーター事業」などをモデルに、同様のサービスを県内各地に広げようとしています。その実現にあたり「産前・産後訪問サポーター認定講習」を開催、各地域での担手の養成を始めています。

県知事が県民の声を、
施策に実現。

島根県では今年度策定した「島根創生計画」において「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指し、結婚・出産・子育てへの様々な支援を掲げています。



スタッフ調整監の安部 順子さん

県健康福祉部子育て包括支援スタッフ調整監の安部順子さんは「松江市やシルバー人材センターの熱心な取り組みに注目しています。吉岡さんのようなやさしくすてきなサポーターさんたち、また地域の力を借りながら、島根の子育てがより豊かになるものとなるよう取り組みます。県内の市町村ともこれから相談していきたい」と見通しを語ってくれました。

会員インタビュー



松江市シルバー人材センター会員
吉岡 三重子さん(77歳)

ホームサポーターとしてこの仕事に就いてからもう12年になります。それ以前から一時預かりふれあいサロンのボランティアとしてお母さん方と一緒に子どもたちの

お世話もしています。子供さんや赤ちゃんが好きで、そんな事に就きたかった夢もかない、長く続けられています。日頃の活動では子どもたちへのやさしい言葉、声掛け、とくに褒めてあげることが心掛けています。また抱っこやおんぶなどのスキンシップも大切。お母さん方の中には抱き癖がつくからあまり抱っこしない方がいいのではという方もいらっしゃいますが、そんなときにもスキンシップがいちばんです。お母さん方も「いろいろ大変で」と言

われませんが、「完璧なお母さんなんていないんだから大丈夫ですよ」と励ましたり...。

私たちの存在や助けがお母さん方の安心につながれば、それがいちばんだと思っています。私の仕事のペースはだいたい週に2〜3回。それぞれ2時間ほど。ときには遊び盛りの子どもたちとかけっこ遊びをしたりもします。子どもたちとのふれあいで明るく、元気に過ごさせています。サポーターの仲間とともにずっとこの仕事をと思っています。

学んで地域で子育て支援！
令和2年度
産前・産後訪問サポーター
認定・育成講習

シルバー会員向けの認定講習と、入会をお考えの方向けの育成講習をラインナップ！(計12回)
3日間の講習を修了した方には、島根県知事からの修了証書を授与します。



訪問サポーター



保育園での補助業務

60歳以上の方
受講無料



ボランティア

7~9月の開催日程は裏面のイベントカレンダーでご確認ください

※「シルボンヌ」とは「silver/シルバー」と、フランス語で女性の「親切」「お手伝い」「優れた」という意味の「bonne/ボンヌ」の造語です。